

## 学校敷地内禁煙に関する社会学的研究

### A sociological study of smoke-free school

コース社会学

学生氏名 岡田 雄樹

キーワード： 敷地内禁煙 タバコ 和歌山県

Key Words : (smoke-free school) (tobacco) (Wakayama Prefecture)

本論文は、受動喫煙防止対策としての学校敷地内禁煙が、日本においていつ始まりどのよう  
に進展したのかを、文献資料調査および聞き取り調査を通じて明らかにしたものである。  
全国の都道府県の動きを明らかにするとともに、とくに、他の都道府県に先駆けて公立学校  
の全面的敷地内禁煙を実現した和歌山県の事例に焦点を当て、和歌山県ではいかにしていち  
早く敷地内禁煙が実現されたのかを探究した。

第2章では、アメリカ社会のタバコ規制に関する社会学的研究を参照し、社会に「ストレ  
イン」が作り出された状況のもとで、タバコに関して特定化された利害を持つ二つの対抗勢  
力（反タバコ勢力とタバコ擁護勢力）のたたかいとしてタバコ規制をめぐる動きを分析する  
視点を整理した。

第3章では、文献資料を用いて、日本における学校敷地内禁煙への動きを「前史」「前期」  
「推進期」「完成期」に分け、都道府県ごとにその取り組みを辿った。その結果、1980年代  
に厚生省主導で敷地内禁煙への動きが始まったが、政府の施策は都道府県の努力を喚起する  
ことを中心としたものだったので、それを都道府県行政側がどう受け止めるかによって、敷  
地内禁煙の進展には大きなばらつきがあったことが明らかになった。

第4章では、聞き取り調査に基づいて、全国で初めて公立学校の全面的敷地内禁煙を実現  
した和歌山県で、敷地内禁煙が実現するプロセスに誰がどのように関わったのかを分析し  
た。その結果、他の都道府県では各学校の努力を促すだけであったのに対し、和歌山県では  
教育長のトップダウン式の強いリーダーシップと教育委員会の組織力によって、敷地内禁煙  
が積極的に推進されたことが明らかになった。また、先行研究が分析したアメリカのタバコ  
規制においては公衆の目の前で反タバコ勢力とタバコ擁護勢力がたたかっていたのに対し、  
和歌山県の事例では両者のたたかいは公衆の目に見えにくい委員会等の内部で行われたこ  
とも明らかとなった。

以上の分析を通して、受動喫煙を防止する取り組みの中でも、学校を舞台とした敷地内禁  
煙に関しては、都道府県の教育委員会の動きが大きな影響力を持ったことが明らかになっ  
た。